

医 療

早期発見・早期治療のススメ

シリーズ 歯科治療最前線

CTの登場でより安全・確実な治療に

「インプラント治療の進め方」

インプラント治療は外科手術となるため、この歯科医院でもできるわけではありません。施術者の技量もさることながら、手術する環境、設備なども重要です。手術を受けるにあたっては十分に説明を受け、理解・納得することも大事です。今回は具体的な治療の進め方です。

十分納得した上で治療を

インプラント治療を受けるにあたっては、受診したその日に即、手術まで行うということはほとんどの場合ありません。まず、インプラント治療についての概要説明を歯科医から受けます。そして、問診を受け、病歴や常用薬、健康状態を歯科医に伝えることが必要です。問診が済むとレントゲンや歯科用CTで歯や骨

専門医からのアドバイス Q&A



熊本インプラントセンター
添島 英輔 副院長
日本口腔インプラント学会 会員
日本矯正歯科学会 会員

手術を必要とするインプラント治療は、安心・安全な手術を行う上で診断や環境も大事になります。そこで今回はインプラント治療の診断と具体的な治療について、添島歯科医院（熊本市桜町）の添島英輔副院長に、お話を伺いました。

効果を発揮する歯科用CT

Q インプラント治療に入る前の診断はどうされますか？

A まず、内科的な既往歴や服用されている常用薬の確認など、注意が必要な場合がありますので問診します。次に当院では口腔内のレントゲンやCTで、骨の状態、神経や血管の位置などを把握します。これは安全に治療を進める上で大事なことです。

の状態を調べます。2次元的な情報しか得られないレントゲンに比べ、CTは3次元的な情報も得られますので、より安心・安全な手術を行う上で効果を発揮しているため、導入する歯科医院が増えています。また、検査の際には、現在の噛み合わせの評価と治療方針を決めるための資料として、歯型も採取し模型をつくりまします。それらが終わると歯科医から患者さんに対して、手術の方法や手順などが具体的に説明されます。患者さんサイドは十分に納得した上で治療を受けてください。

手術の際は、事前に手術が行われる手術室の環境が準滅菌状態で行われるか、モニタリングシステムの有無、口腔内外の清掃の仕方などの説明も受けた方がよいでしょう。手術自体はインプラントを入れる部分の歯茎を切開し、埋め込み、縫合します。手術は1回法と2回法の2種類あります。

「インプラント治療の診断と具体的な治療」

そして歯型の模型を作り、噛み合わせなどを確かめ、インプラントの種類や埋入位置などをシュミレーションしながら決めていきます。これら一連の流れを患者さんに情報開示（インフォームド・コンセント）し、納得していただいた上で治療に入ります。

手術室は準滅菌状態に

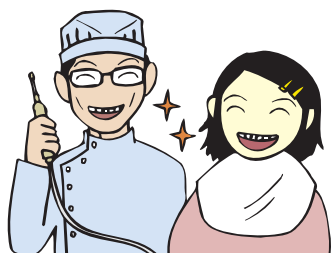
Q 具体的な治療（手術）の進め方を教えてください

A インプラント手術をすることが決まったら、事前に血圧測定や必要に応じて血液検査をしていただき全身状態を評価します。手術前に口腔内の炎症等はなくしておきますが、手術当日も口腔内外の清掃を徹底的に行った後、手術室に入ってください。手術はインプラントを入れる部分の歯茎の切開、埋入、縫合という順で進みます。通常は局部麻酔のみで行いますので、抜歯するのと同じ感じですが、術中の感染を防止するため手術室の滅菌も非常に大事です。不安や恐怖心が強い方には静脈鎮静法を用いることもあります。

手術方法は1回法と2回法

インプラントの本数は症例で異なる。インプラントを入れる本数は歯の欠損が1本の場合は1本を、連続3本以上欠損している場合は症例により入れる本数が変わってきます。熊本市の歯科医院に聞くと「個人差はありますが、全歯欠損の場合は上顎が8本、下顎が6本程度で支えるのが安全でしょう。本数の指示は歯科医が行います」と話しています。手術は例外を除き短時間で済みますが、インプラントと骨が十分に結合する期間が、通常1カ月半程度必要となります。検査で結合していることが確認できれば歯冠を被せて終わります。

なお、治療期間中はブラッシングや食事指導を十分に受け、プラークコントロールや手術した部分への負荷などの注意事項を守ることが大切です。



Q 手術の方法や時間、治療期間などはどうなりますか？

A 手術の方法は1回法と2回法があります。術後に歯肉からインプラント体の頭が出てくるのが1回法、出ていない場合が2回法です。症例に応じて選択しますが、通常は1回法で行うケースが多いです。手術自体は1本当たり約20分～30分程度ですが、入れる本数が多かったりするとその分、時間がかかります。術後約1週間で抜糸し、そして、1カ月半から4カ月後に歯冠を被せて治療は終わります。

条件が良くない場合は2回法

Q 1回法は治療期間も短いと聞いていますが、

A 確かにそうですが、その場合でも歯冠を被せるためには約2カ月程度かかります。骨幅が狭いなど条件があり、良くない場合は、2回法を用います。2回法はインプラント手術の後、頭出しの簡単な手術が必要となります。

第一高校 ● 合同庁舎 ●
〒760-0001 熊本市
添島歯科医院
添島英輔 院長
〒760-0001 熊本市
添島歯科医院
添島英輔 院長
0120-354-508
http://www.soejima-sika.com/

医療 ニュース in KUMAMOTO

新病院の移転新築工事に着手

健康保険八代総合病院



▲新病院の完成予想図。65mの高層ビルになる

健康保険八代総合病院（八代市松江城町）は1月21日、同市通町の八代白百合学園高校跡地で新病院移転新築工事に着手した。総事業費は約100億円。2013年6月の完成を目指す。現病院が老朽化し、駐車場も不足しているため新築するもの。建設地は八代市役所東側で、現病院敷地の北東側。6544㎡の敷地に地上14階地下1階建て、延べ床面積約3万㎡のビルを建設する。高さ65mの高層ビルになる計画。

1階はロビーや検査室のほか、患者や市民が自由に利用できるカフェやライブラリーを設ける。2～5階は外来や手術室、管理部門、6～13階が病棟、14階には人間ドックや展望レストランを設ける。



▲完成した5階建て新産科棟「マリア館」

1月24日から新産科棟「マリア館」が運用開始

慈恵病院

（聖）教会 慈恵病院（熊本市島崎6丁目）が本館南側に建設を進めていた新産科棟「マリア館」が完成し、1月24日から運用を開始した。場所は本館の道向かいで、敷地面積は約1465㎡、建物は5階建てで、延べ床面積は約2723㎡。外観はレング調で西洋の城をイメージしたという。新棟では、本館から移転する形で産科と小児科の診療および分娩（ぶんべん）・出産などを行い、ほかの診療科目を本館で対応する。ベッド数は20床（全個室でアメニティーなども充実させる）。

フロア構成は1階が受付・ロビー、外来診察室など、2階が陣痛室・分娩室、新生児室、未熟児室など、3、4階は病室で3階には特別室2室と一般個室12室、4階が一般個室6室、厨房・多目的室、5階は洗濯室となっている。本館と新館は2階部分を上空通路でつないだ。また、新館の完成に伴い、全国的に注目される「このとりのゆりかご」も新館裏手に移設した。

下肢静脈瘤の手術症例が320例を突破

熊本血管外科クリニック

下肢静脈瘤（しゅうじゅう）手術専門の熊本血管外科クリニック（熊本市上通町）は昨年12月末で、下肢静脈瘤の手術症例が昨年5月の開院から約8カ月間で320例を突破した。

同院では開院当初1日1例のペースで手術を行っていたが、問い合わせの増加から昨年10月には1日2例から3例に変更。月間約50例のペースに切り替えた。1月から3月までは予約で9割程度埋まっている状態で、今年は年間で500例を目指す。同

介護予防通所リハビリテーションを開始

まつばらリウマチ科整形外科

医療法人社団星輝会 まつばらリウマチ科整形外科（熊本市月出5丁目）は、このほど、介護予防通所リハビリテーションを始めた。手狭となっていたリハビリテーション室（100㎡）を増築（50㎡）し、その一角をリハビリテーションで仕切り、機能維持訓練や物理療法、介護予防の体操などを行うもの。介護保険の

い。透析終了を確認した後もワンタッチで返血を開始する。現在外来患者用に56台備えており、月間約180人の透析患者を受け入れている。



▲全自動の透析用監視装置「TR-3000MA」

全自動の透析用監視装置を導入

嶋田病院

（医）如水会 嶋田病院（熊本市練兵町）はこのほど、全自動の透析用監視装置を導入した。

名称は「TR-3000MA」。操作を自動化することで、透析治療にかかる人員・資材コストの削減やヒューマンエラー低減につながるという装置。自動的にブライミングを行い、ワンタッチ操作で脱血を開始。患者の血圧低下の際の補液も生理食塩水を必要としな



▲診療所の外観